

かわむら **こども** クリニックNEWS

Volume 22 No 6

251号

平成26年 6月 5日

かわむらこどもクリニック 022-271-5255

HOME PAGE <http://www.kodomo-clinic.or.jp/>

鳥越俊太郎 医療の現場!

院長

内容が予測できそうもない題を付けてしまいました。鳥越俊太郎さんは知っているにしても、「医療の現場!」というの聞いたことがないかもしれません。

「医療の現場!」は、日本医師会が提供するBSテレビ朝日の医療番組です。既にご存知の方もいると思いますが、院長が先日取材を受けた性教育活動が紹介される予定です。

テーマは、「学校保健のいま～新たな時代の健康診断と健康教育～」です。取り上げられるのは、小学4年生の保健授業「育ちゆく体とわたし」から始まりPTA親子行事、そして再び授業に格上げされた「赤ちゃんはどこから来るの?」に関するものです。詳細にはNEWSやブログにあるので、興味のある方は是非お読みください。

性教育といいながら、「命の大切さ」がメインテーマです。小学4年生にも分かりやすいように、胎児、超低出生体重児、NICU、学生実習の写真やイラストをふんだんに使った教材(スライド)を使用しています(スライドは院内に掲示中です)。もう一つの重要な点は、児童だけでなく保護者も一緒に参加することです。親子揃って聞くことは、話しにくい性教育の話題が食卓に上り、親と子のかかわり合いの大切さを考えるきっかけや親子のコミュニケーションに役立つことを期待しています。

さて、どうして「医療の現場!」で取り上げられることになったのでしょうか。2年前、東北学校保健・学校医大会が青森市で開催されました。シンポジウム「これからの学校検診と健康教育」の宮城県医師会の代表として、『命の大切さ』を伝える性教育PTA行事～授業から生まれたPTA行事～を発表しました。コメンテーターとして参加していた日本医師会学校保健担当理事から高い評価をいただきました。

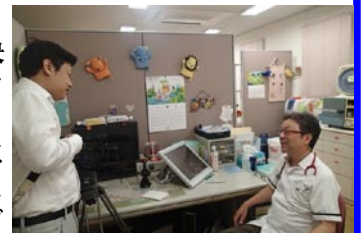
その後は特に連絡はありませんでしたが、4月下旬日本医師会事務局から突然「日本医師会では、「鳥越俊太郎の医療の現場」というテレビ番組をスポンサ


ーしてしておりますが、この度、「学校医」を特集することとなりました。現在、道永常任理事や番組製作会社と企画を進めておりますが、道永常任理事より、川村先生の学校医活動を取材させて頂き、番組で放送させていただけないかとのご意向がございます。」とのメールが届きました。確かに理事には高い評価を頂きましたが、まさかこんなオファーがくるとは夢にも思っておりませんでした。もちろんマスコミに弱い院長ですから、二つ返事で承諾しました。すると理事から「事務局から、突然の連絡、申し訳ありませんでした。学校医の話題を、テレビで取り上げるとなった時、どうしても、先生に助けをいただきたいと思いました。日本医師会常任理事として、学校保健を担当し、初めての公務が、東北ブロックの学校医大会でした。まだ、何も解らない時に、先生の講演を聞き、とっても感動しました。先生の熱意、どこかで公表したいとずっと思っております。ご快諾いただき、本当に感謝しております。」と。

ということで取材が決まったのです。ディレクターからの希望で、診察中と性教育授業の映像、授業に参加した親子のインタビュー、加えて院長のインタビューの取材を受けることになりました。当日は患者さんの多大なる協力を頂き、改めて感謝いたします。

果たしてどんな内容になるのかは、見てのお楽しみということにしましょう。取材の自慢話したら、結局はカットされたなどの話もよくあります。単独のテーマであれば院長がスタジオで鳥越さんと対談でしょうが、「学校保健のいま」という大きな枠組みではひとつの事例に過ぎません。あまり欲張りすぎると...、まあせいぜい1分程度と考えておきましょう。


最後ですが、「命の大切さ」を伝えることはとても重要なことなのです。「命の大切さ」を知ることは、自分自身を大切にすることでなく、友だち、親、そして全ての生き物を大切にすること意識を高めます。ひいては、虐待やいじめ防止につながることを信じながら活動を広げていきたいと思っています。またこのような話を教師からではなく、小児科医から聞くことにも大きな意味があります。普通とは違うスライドを使った授業であり、校医が教師ということも相まってインパクトを強く与え、長く記憶に残ることになるでしょう。このような活動をしている校医は決して多くはありません。一生に一度でも、「命の大切さ」が聞ける小松島小学校の児童は、ちょっとラッキーかもしれません。





6月のお知らせ

- ・臨時休診
14日(土) 休診
- ・日本小児科医会総会フォーラム(盛岡)
- ・東北大医学部学生実習
20日(金) ご理解とご協力を!
- ・栄養育児相談
4日、18日(水) 13:30~
栄養士担当 参加無料



3.11で東日本大震災から3年 “震災を忘れない!”
『がんばろう! 宮城 がんばろう! 日本』 復興支援をこれからも!

読者の広場

先月は19通のメールを頂きました、もう少しで大台に乗るところです。数多くのメールを頂きましたが、医療相談や紹介病院受診のお礼など、結構プライバシーにかかわるものが多かったので、一部だけ紹介しますね。まずは宮城野区の小林さんからのG.W中の相談メール。「小林 大希、奈愛の母です。先程、22:30頃、大希が気持ち悪いと言って吐いてしまいました。22:50までに、4回吐いてます。それも、滝のように吐いてます。今は、旦那と救急病院に行っています。明日から、連休だと言うのに…。先生のところが お休みなのに…。これから、大希は どういう事を気をつけたいか 聞きたくてメールしました。先生のところが休みだと思わずと不安です。親の私が不安がってちゃいけませんね アドバイス、お願いできたら 嬉しいです。お願いします。」。休診中でしたがたまたま目に触れたので、病気の説明と対応を返信しました。お礼のメール「返事ありがとうございます。昨日の昼ぐらまで吐きましたが、今は落ち着いてきました。が、下痢と熱が出てきました。水分は、なかなか飲んでくれないので心配ですが、飲ませるしかないですね 丁寧なアドバイス、ありがとうございました!! 大希がよくなるまで、頑張ります!」。その後のやり取りはブログ掲載予定ですが、しっかり落ち着きました。休み中でも可能なら対応する。それがかかりつけの医師というものなのかもしれません。



さて次は止むなく入院となった青葉区の円谷さんから。「5月7日に一週間続く熱で来院し、そのまま医療センターに入院になった円谷湊の母です。いつも大変お世話になっております。初めての入院で、いつも仙台に母一人子一人のため、色々な事に戸惑ってバタバタしながらの入院だった為、報告が遅くなってしまいました。いつもは笑って大丈夫だからとおっしゃってくれる先生が、いつもとは違う真剣な面持ちでパソコン画面を見つめていたのを覚えています。先生の予想通り湊は肺炎で心臓の裏部分に白い影がありましたが、今は抗生剤で熱も下がり食欲も出てきて回復に向かっております。入院二日目は深夜に「ほんほん痛い」と大騒ぎして、クレームが出たのか部屋から出されてプレイルームの床で二人で寝る事になってしまいました…。でもその日以降は夜もぐっすりです今は安心しております。集団生活で学ぶことが多い筈だろうから、と四月から保育園に入れ、私も働き出しましたが、恐らく保育園で菌を貰ったもので、注射やお薬の時の泣き顔を見ると「ここまでして保育園に入れる意味はあったのだろうか」と疑問や責任を感じる事もあり、祖母にも「まだ保育園に預ける気なんだ」という事も言われましたが、前向きに頑張っていこうと思います。入院初日の夜に疲れ切った笑顔で「おかあさんだいち(大好き)」と寝ていった我が子に涙が出ました。当初5日間で退院の予定がCRPが10.0もあつたらと1週間に延びて火曜に退院予定です、水分が取れるようになったので点滴も昨日外れて明日から抗生剤は内服になります。通勤族で父親は福島、両親ともに遠方なので、子供が病気がかかっても、怪我をしたりしても、「何かあれば川村先生がいるから」といつも支えになっています。いつもありがとうございます、そして今後ともよろしくお願い致します。」。入院後の報告はうれしいもことです。入院中は心配事もあり、他には気が回らない時期です。ましてわざわざ報告することではありません。スタッフみんなよろこんでいました。保育所に預けるのは仕事のため止むを得ないことで、病気をしに行ってるぐらいの割り切りも必要です。保育所で子どもが病気をもらってくるのは誰のせいでもなく、まして母親のせいではありません。もし責任があるとしたら、社会の責任かもしれません。病気をしながら免疫を付けているんだぐらいに考えて、胸を張って預けてください。

テレビ番組の紹介

鳥越俊太郎 医療の現場! (提供: 日本医師会)

「学校保健のいま

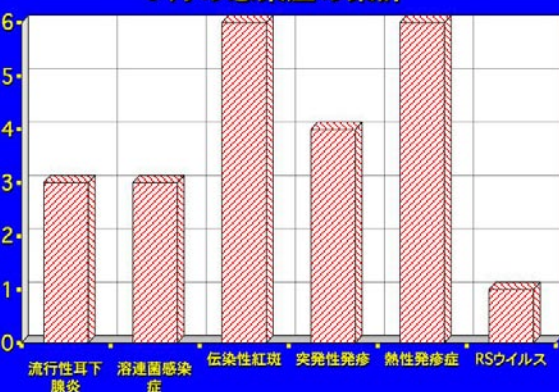
～新たな時代の学校健診と健康教育～」

放送局: BS テレビ朝日 (BS5ch)

放送日時: 6月22日(日) 10:00～10:30

再放送: 6月28日(土) 16:00～16:30

5月の感染症の集計



溶連菌感染症は前月と比べて減少しました。いわゆるりんご病の伝染性紅斑が少し目立っています。感染性胃腸炎が増加しています。原因ウイルスではロタ・アデノウイルスが検出されていますが、見つからないことがほとんどです。

Mail News, Twitter, Blog, Facebook の紹介

Mail News は、470人を越えるお母さんが登録。右上のQRコードから登録できます。件名を「登録希望」とし、登録者の名前とお子さんの名前を記載し送信してください。

新しい情報発信として **Twitter**、**Blog** 「子どもクリニック四方山話」、**Facebook** ページ、**YouTube** にも取り組んでいます。子育て、医学、趣味、グルメ、旅行記等のおもしろい話題満載。見るだけでも楽しいかもしれません。是非ご覧ください!

Mail News かなり戻ってきます。届かない場合は kodomo-clinic.or.jp をドメイン指定して下さい。



MailNews



Twitter



Facebook



Blog

編集後記

2007年にNHKの“生活ほっとモーニング”で、医師と患者のコミュニケーションで取材を受け、10分程度放映されました。地元局のインフルエンザの取材では10数秒ほどですが放映されています。今回は院長が力を入れている学校医活動が評価された結果です。何事も一生懸命取り組んでいれば、誰かが見ている力を貸してくれる。まさにそのものです。このような外部からの評価がモチベーションを維持してくれます。



K's clinic

麻しん風しんゼロ作戦キャンペーン 『1才のお誕生日にMRワクチンを!!』

『お母さんクラブ』現在会員を募集中です。参加希望は受付まで。